

# 沿道環境の変化

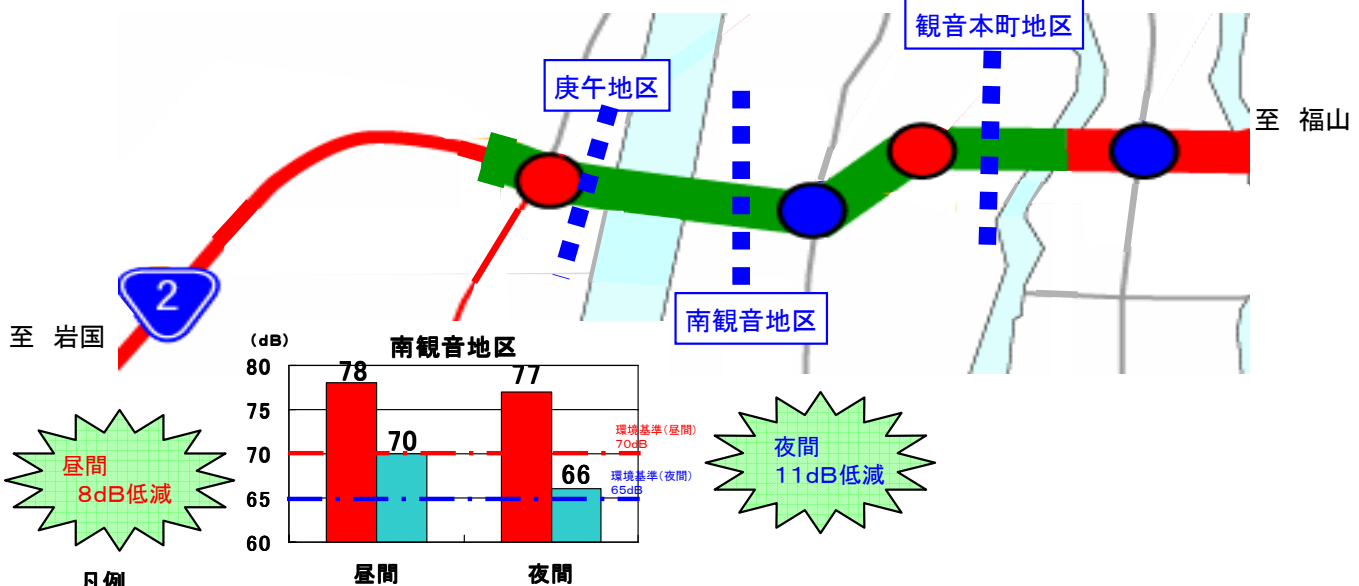
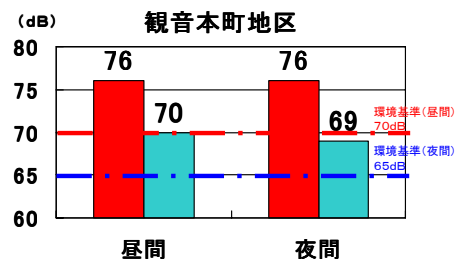
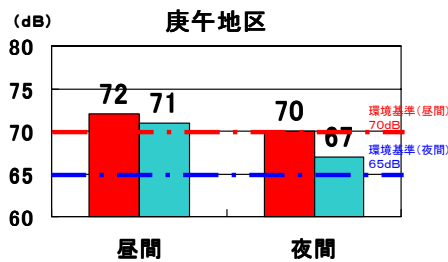
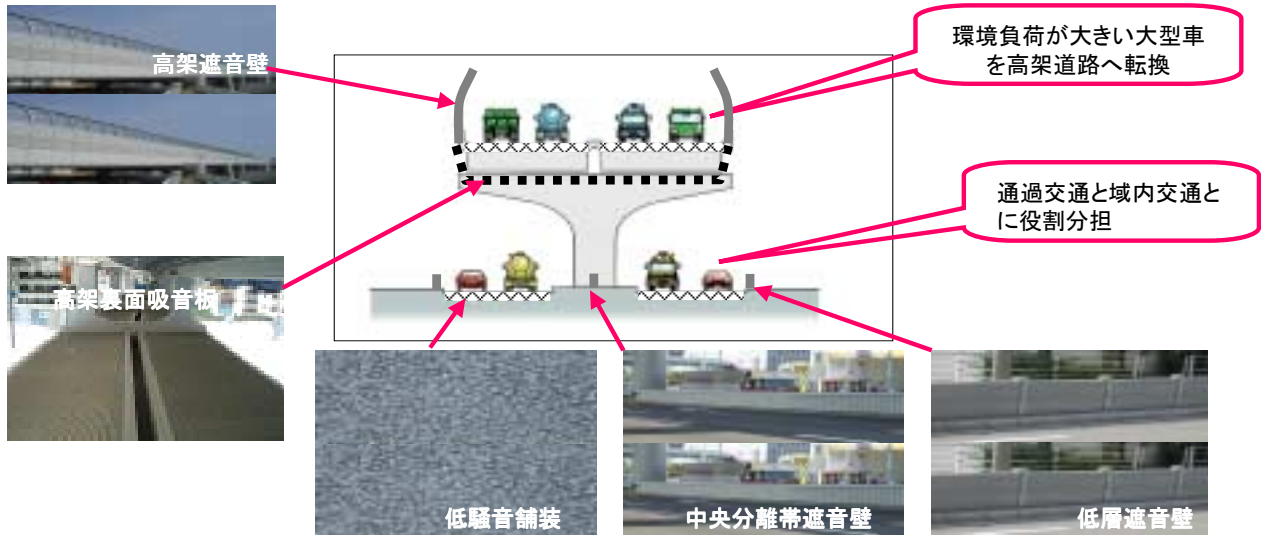
## ○騒音

高架道路整備区間の騒音値は、整備前と比較して、

**最大 昼間8dB、夜間11dB低減**

沿道環境は著しく改善

(騒音が8dB及び11dB下がると交通量がそれぞれ約1/6, 約1/13に減少したのと同じ効果がある※)



### 凡例

- 整備前
- 整備後

庚午地区 < H12.7.18~19 低騒音舗装後の調査 >、南観音、観音本町地区 < H10.12.15~16 低騒音舗装前の調査 >  
 庚午地区 < H15.12.3~4 調査 >、観音本町地区 < H16. 1.14 ~15調査 >  
 南観音地区は、< H16. 1.21 ~ 2. 18 南観音観測局における測定値の平均 >

・測定位置は、官民境界、高さ地上 1. 2mで測定

※「(社)日本音響学会のASJ Model 1998」における等価騒音レベルの算定式において、道路構造対策(遮音壁、低騒音舗装など)を実施せず、交通量のみを減少させた場合で推計